



大牟田のまちづくりとしての地域包括ケア

日本共産党議員団 北岡 あや 議員

3月10日 一問一答方式により質問

- 1 本市における地域包括ケアシステムの構築について
 - (1) 要支援者に対するサービス提供
 - (2) 介護・医療等の機能化した連携
 - (3) 障害者が65歳になったときの対応
 - (4) 成年後見センターの設立案と課題

要支援者に対するサービスの提供

問 要支援1、2の方の訪問介護、通所介護が介護保険から外され、地域支援事業に移されることによる影響、課題は。

答 平成27年度から29年度末までに段階的に移行。利用者・事業者から不安の声もあり、市としては、サービスの低下につながるこ

とのないように努めていきたい。一番の問題は、継続的なサービスの提供。また、専門的なサービスが必要な方もいる。市としては、継続的、専門的なサービスの提供にも取り組まなければならない。

要支援1、2の人数	約2,180人
このうち	
訪問介護利用者	1,029人
通所介護利用者	602人
	(平成25年12月時点)

成年後見センターの設立案と課題

問 センターの果たすべき役割は、今後大きくなる。養成する市民後見人の人数と市民後見人が受け持つ件数は。

答 3年間程度で、30人の養成、登録が目標。受け持つ件数は、一人につき1件と考えている。



国土調査を早く終了し都市再生まちづくりを

自由民主党議員団 入江 裕二郎 議員

3月10日 一問一答方式により質問

- 1 国土調査について (1) 本市の進捗率と事業期間 (2) 街区基準点の整備状況と事業費軽減の見込み (3) 事業費の負担率と未調査区域の面積 (4) 重複登記などの把握状況 (5) 調査後の税収増の見込み (6) 調査の優先順位
- 2 商店街の活性化について (1) 商店街の再生と空き店舗の活用 (2) まちづくり基金事業の対象 (3) まちづくり基金事業の地域指定による集中的活用
- 3 観光振興について (1) 世界遺産候補等を含む全市の観光PR (2) 観光ボランティア育成と世界遺産にちなんだ商品開発

国土調査について

問 大牟田市の地籍調査進捗率はどのくらいか。また未調査区域は何年で完了するのか。

答 土地改良区域も含め面積で10.01km²、約12%の進捗。完了時期については、26年度に設置する国土調査準備室で事業計画を決定したい。

まちづくり基金事業の地域指定による集中的活用

問 市内商店街の中に地域指定をし、補助金を集中的に使うことによって活性化効果を出してはどうか。

答 地域指定はなじまないと考えており、地域特性のある商店街の取り組み推進のため、きめ細かい支援をしたい。

観光ボランティア育成と世界遺産にちなんだ商品開発

問 世界遺産登録の結果が出るまであと1年。観光ボランティア養成は年次計画と具体的な目標を定めて力を入れるべきだと思うが。

答 観光ボランティアガイドは、年間10名程度の新規登録を目標に毎年募集。研修の拡充などで見学者が満足いただけるよう努めたい。



胃がんリスク検診導入を早期発見してこそ早期治療

公明党議員団 平山 伸二 議員

3月10日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市民の健康維持対策について
 - (1) 胃がんリスク検診の必要性(ピロリ菌の検査等)
 - (2) 自殺予防対策について (1) かけがえのない命を守るための取り組み
- 2 大牟田市の活性化について (1) 大牟田市のイメージキャラクター(ゆるキャラ)
- 3 大牟田市動物の愛護及び管理に関する条例の必要性について
 - (1) 人と動物の共生する社会の実現
- 5 災害時の安心の準備について (1) 災害時におけるオストメイトの方への支援

胃がんリスク検診の必要性(ピロリ菌の検査等)

問 国が胃がんとピロリ菌の関係性について認めている。

本市もピロリ菌を検診で早期発見し、早期治療するため、胃がんリスクABC検診を胃がん検診の中に加える必要があると考えるが、見解を聞きたい。

答 がん検診に関する国の検討会

の動向を注視しつつ、医師会などとの連携のもと、まずは胃がん検診の向上に努めたい。

大牟田市のイメージキャラクター(ゆるキャラ)

問 市のイメージアップ、PR活動のため必要だと考えるがどうか。

答 本市は29年3月に市政施行100周年になるので、この記念事

業の一環として検討したい。

かけがえのない命を守るための取り組み

問 荒川区の自殺予防の取り組み(ゲートキーパー)を手本として、本市でも取り組んではどうか。

答 本市でも荒川区のゲートキーパーの役割の重要性に着目し、人材を養成する事業を強化したい。